+	₩ - 1			F00					ı	/F-产士	<b>ゴ.</b> タ		+ <i>\( \exists\)</i>	\ <del>+</del>	幼井 ^^	000 70	1400
争	業コート		1_	530		2		· 7/c ===		作成者	<b>八</b> 名	<b>一</b>	本 信一		絡先 08		-1400
→ <i>k</i> **	事務事					料等	徴収事						担当部		6月,大大マロコ		水道課
総合後	計画	水道  基本		会計 コード	款 Ⅱ 2 4	<u>1</u> 項 目	人の利自然	を守り	を支える 育むた& 活環境の	かに	1	下水道事業	<del>2</del>	目 1		を 総合計 期基本 168	計画
交	像		使用者						意図 をどのよう ひか)	7	道使用	者に対する適	f切な負担を?	らって、特別	会計の経営の	り安定化	化を図
	事業 既要	水道位	使用料	の算)	定、賦	課、徵	<b>火</b> 収										
事	事務事業	の成績	果指標		単	位	24 <sup>左</sup> 室	F度 績	25年度 実績		実績	26年度 目標	達成度	27年度 目標		団体等 績値等	
下水i 分)	道使用料の	の収納	率(現	年	9	6		99. 4		9. 4	99. 4	99. 4				ME (	
	道使用料の	の収納	]率(過	年	9	6		11. 3	10	0.8	12. 7	11. 3	112. 4%	11.	3		
◆事	務事業	(予算	事業)	を権	構成す	る業績	<b>務◆</b>				江至.	化抽 中米	弗 (イ.田)			址	4
番号		/-		の名		the\			指標名	7		指標・事業 24年度実績		26年度実績	27年度目標	業務評	重点業
		( •=	=行動詞	計画文	付象業	務)			事業費	ŧ		24年度決算	25年度決算	26年度決算		PI	務
1	収納指導	尊員の	活用						雇用人 事業費		人 千円	1, 448	_	_		-	
2	電算委託	エルト	ス 重 数	の効	索ル				調停額	Į	千円	720, 037	1	751, 570	761, 380	В	0
	电异女』	しいこみ	の事物	(V) (S/J)	7-16				事業費		千円	4, 479		3, 86		7	
3	水道局~	~使用	料徴収	業務	を委託				収納額 事業費		千円	716, 031 29, 681	730, 913 32, 105	750, 382 34, 05		Δ	0
4									事業費	ŧ	千円						
5									事業費	ė,	千円					<u> </u>	
6									事業費	ė.	千円					<u> </u>	
7									事業費	ė.	千円					<u> </u>	
8									事業費	ŧ	千円					<u>↓</u>	
9									事業費	ŧ	千円					<u> </u>	
10									事業費	ŧ	千円					<u>↓</u>	
11									事業費	ė.	千円					<u> </u>	
12									事業費	ė.	千円					<u> </u>	
13									事業費	ė.	千円					-	
14									事業費	Ė.	千円					<del> </del>	
15			<del>, d.,</del> 4.	公中 2	と 車 へ	\ <del>A</del> ∌I	(-T IT	1)	事業費	Ę	千円	05.000	00.00=	07.01	10.000	1	
	m#h J	P. 1. /s		<b>安争</b>	来負の		(千円 務量 (	·				35, 608 1. 15人	38, 007 1. 15人	37, 918 1. 15人		4	
	戦」	貝人作	牛費等					(千円)	В			8, 448	8, 101	8, 228			
		人	、件費を	を含む	む総事	業費	(千円		A + B			44, 056	46, 108	46, 146	B改善		
								国庫支出金 県支出金					-		C 縮小・         D 休廃止		
			財源内	引訳				地力	す債							.v= H	,
								その一般	D他 B財源			44, 056	46, 108	46, 146	3		

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 平成20年度まで現年度分で97%台であった収納率は、平成21年度より水道局へ使用料徴収業務を委託したことにより99%台に上昇し、現在その水準を維持している。また、このことにより、収納指導員の活用業務において、平成25年度より収納指導員を業務量の減少した下水道課から収納対策室へ移管した。水道局への使用料徴収業務を委託することは、収納率の向上と事務経費の削減につながるものであり、最重点化業務とした ところである。

## ◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の 成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 下水道使用者に対する適切な負担をもって特別会計の経営の安定化を図るため、使用料の徴収率を成果指標と しているが、水道局へ使用料徴収業務を委託したことにより、高い水準で収納率が推移している。
事務事業を 構成する 業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 ・上記の下水道使用料徴収方法のうち、収納指導員の活用については、他部門の収納事務と統合して事務効率を上げるため、平成25年度より所属を収納対策室へ移管した。 ・その他の業務については事務事業を実現するためには適当である。
実施主体の 妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。 下水道使用料徴収の主体は市であり妥当である。

### ◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由
事務事業の意図を達成する	こめの具体的な改善提案(内容、予定時期等)
	現在、水道局と同一のシステムを使用し、電算委託による事務の効率化を図っているが、より効率的な運用となるよう、引き続き、水道局と連携を図っていく。
予算の増減を伴わず	
実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う	
改善提案	
<b>★ 本数本米 &amp; 七七 // . ★</b>	

★ 101 ± 10.15 10.11	
事務事業執行責任者 (課長名)	小田 淳
	水道局への使用料徴収委託を引き続き実施し、収納率の向上と事務経費の削減を図る。また、過年度滞納者に対しては臨戸訪問を引き続き実施することで、過年度収納率の向上を図る。

最終評価責任者 (部長名)	<b>亀井</b> 淳二
	水道局への徴収委託は収納率向上に有効かつ経済的である。また、水道料金との同時徴収については、停水措置の実行による収納率の向上にもつながっている。

事	業コー	- F	5	30	<del>-</del> 3		作成者氏名				中	本 信一	ì	連絡先 0833-72-			-1400	
	事務事				理事務費			<u> </u>	11/4/		•		担当		l e			く道課
		下水道物			款 1	下水:	道事業	É		項	1	下水道事業			一般管	理費		~_ P/N
総合	計画	基本目標	票ニ	1	Ⅲ	人の	暮らし	/を支え				1	-	7,0,1	総	合計		
後 基本	期計画	重点目標		?	2 目		を守り育むために 的な生活環境の確保									後期基本計画 168 頁		
<u> </u>	HI E		10 ,		7	H1	・・・・ユ											
<b>☆</b> +	·象	下水道使	用者				(+J-#	意図				の管理事務を つとめ、また						
\\\\.\.\.\.							したい	対象をどのように たいのか) 滑な実施につとめ、また研修等による自己研鑚により下水道を を持たずに下水道を利用できる環境を維持する。										
事務	事業	研修会へ	の参加	]、消	費税及び地	方消費	貴税の	算定及び	神告、	魚が辺	広場	草刈委託						
	既要																	
						915	<b></b> 手度	25年	<b>帝</b>			26年度		27年度	*	百亿三	団体等	
事	務事	業の成果	指標		単位		+ 反 : :績	実績		実績	į	目標	達成度	目標			責値等	
				+														
				4														
◆事績	<b>務事業</b>	- (予算事	業)	を構成	成する業績	务◆						HAIT	# / <del></del>					
番号			業務0					指標	名			指標・事業 24年度実績		26年度宝	<b>着</b> 27年度	月煙	業務評	重点
田刀		(●=1	<b>亍動計</b>	画対象	象業務)			事業				24年度決算					評価	業務
1	研修へ	への参加						出席回事業			回 f円	2	2	2	4	5	Α	
2	沿弗我		池弗和	か質	宁 由生						一门	0			0	- 0	Α	
	1日貝切	L/X () 112//	1日貝 17	じマノチ	·Æ、 T []			事業草刈りの			f円 回	26, 733	27, 17	54, 3	96 62	, 914	Λ	
3	魚ヶ辺	2広場管理						事業			E F円	777	683	3 6	80	886	А	
4	周南流	抗域下水道	推進協	協議会	負担金		協議会の回 事業費				山田田	3 29	29		3 29	3 29	В	0
	工业注	台协公台田	<u> </u>				定期刊行物				回	12	1:		12	12	Δ.	
5	下小连	<b>道協会負担</b>	並				事業費  千円				千円	199	187	1	83	209	Α	
6							事業費・千円				千円							
7										THE E								
8							事業費  千円											
								事業	費	1	千円							
9								事業	費	Í	千円							
10								事業	費	千円						=		
11																		
								事業			千円					$\dashv$		
12								事業	費	=	千円							
13								事業	費	=	千円							
14								事業	費	=	千円					$\dashv$		
15																		
			直接	事業	費の合計	(千口	1)	事業 A	費	=	千円	27, 738	28, 076	55, 2	88 64	, 038		
	H	<b>戦員人件</b>		→ /N.	業績	务量	(人工	数)				1.10人	1. 10人	1.30	人		Ī	
	11				<u>"</u>		(千円					8, 081	7, 748		Αŧ	務評価】 現状維持・拡充		
		人作	井費を	含む	総事業費	(千円		A + B				35, 819	35, 824	64, 5	90 A 5		10 - 1072	/L
							国庫支出金										抜本的身	
		財	源内詞	訳			県支出金 地方債									ト発止	・統合	・元「
		, · · ·	* F				そ	の他										
								般財源				35, 819	35, 824	64, 5	90			

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 一般管理事務のうち、周南流域下水道推進協議会は、県及び関係3市とで周南流域下水道浄化センターの運営について協議を行う重要な協議会 であるため。

## ◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の 成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 本事業は、直接的な住民サービスの提供を伴わない内部的、定型的な業務であるため、成果指標を数値化する ことは難しい。
事務事業を 構成する 業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 下水道事業の管理事務を行うため、関係機関及び職員が、下水道事業の円滑な実施につとめ、また研修等による自己研鑚に努めることは有効である。
実施主体の 妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。 下水道にかかる業務は周辺水域の環境保全、及び住民の環境衛生を保持するため必要不可欠であり、市が事業 を実施することは妥当である。

## ◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
	Market Devent
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由
事務事業の意図を達成する	ための具体的な改善提案(内容、予定時期等)
予算の増減を伴わず 実施可能な改善提案	本市の流域下水道は県と3市(光市、周南市、岩国市)により広域化を図り実施しているところであり、周南流域下水道協議会において、周南流域下水道事業の推進及び関係公共下水道事業の調整に努めている。協同して経費節減等に取り組めるよう、引き続き3市と県との間で協議を進めていく。
予算の増減を伴う 改善提案	

事務事業執行責任者 (課長名)	小田 淳
事務事業の 今後の方向性	直接的な住民サービスの提供を伴わない内部的、定型的な業務について、今後も引き続き効率的に実施していく必要がある。

最終評価責任者 (部長名)	亀井 淳二	
	適切かつ迅速な事務の実施及び加入団体	<b>本</b> のさらなる活用が必要である。
部長意見欄		

-	Ark	10		F00						/h !	2±1.17 /	7			ı⇒	ı	>士4	A H- ^^	00.70	1.400	
	業コー					4	— *** ****	作成者氏名					中本信一				連約	各先 08		-1400	
	事務事					<sup>ど維持<sup>を</sup></sup>		営事業					担当課				1	tipe East.		<b>火道課</b>	
予算総合	費目		道特別 :目標	会計	款Ⅲ	1		直事業 暮らし		えるます		1	下水道事業費目					一般管理費	· 注合計	圃	
後	期	重点	目標	1	2	項 目	自然	<del>-</del> を守り	育むが	こめに								後期基本計画			
基本	計画	政	策	ド	4		衛生的	的な生	]な生活環境の確保									168	頁		
		下水道	道処理	区域内	の住民	i.			意図									理し、汚水を			
対	象							(対象: したい(	をどの』 のか)	L 7 (L   1	里場へ沢 る。	<b>元すこ</b>	ことで、下オ	く道処	理区域内	りの住民	の衛	生的な生活環	境を終	推持す	
<b>事</b> 致	事業							音渠 (ス	ポンプリ									. 健全な下水			
	mt and			元の協 、環境				7工事に	こおい゛	ては融資	資のあっ	っせん	ンを行う等 <i>の</i>	普及	啓発活動	かに努め	、安小	心・安全な着	らしに	こ寄与	
事	務事	業の成	<b>大果指</b>	標	単	位		F度 績	25年 実		実績	i i	26年度 目標	淬	成度	27年			団体等 責値等		
下水:	<b></b> 普	ti.			(	%		77.8	大	78.6		79. 1	78.8		100. 4%		ボ 80. 3	V) X/I	貝胆寸	•	
广小儿	目百八年	<u> </u>				/0		11.0		10.0		19. 1	10.0	2	100. 4%		00. 3				
<b>◆</b> 事	务事業	(予算	算事業	<ul><li>(主) を</li></ul>	L 構成す	つる業績	<u>L</u> 务◆							1		<u> </u>					
				·· 務の名						art la			指標・事業			1 .			業務	重点	
番号		(		助計画		務)			指標 事業									27年度目標 27年度予算	評価	業務	
1	答泪	491/-	プ 4日. ナュ	どの維	<b>大</b>	H			汚水	水量		手亚 手㎡	4,305	_	4,430		4, 326		В	©	
1	目朱、	<i>N</i> / .	ノ物は	こ リノボ田	17日日	E			事業	<b></b>	=	千円	40, 083	3	47, 437	47	7, 881	47, 500	ь	0	
2	流域下	水道	負担金						事業	<b></b> と費	=	千円	406, 731	1 .	418, 858	419	9, 695	471, 389	Α	0	
3	水洗便 行)	更所改;	告融資	あっせ	ん(貸	資付実			貸付 事業			件 <b>千</b> 円	[	_	0		0	1 0	Α		
4	水洗便	更所改:	告融資	あっせ	ん (利	子補		7	<b>利子補</b>	給件数		件	Ç	3	2		2	2	Α		
- 4	給)								事業	<b></b>	7	千円	36	6	15		22	20	Α		
5								事業費   千円													
6								事業費			1	千円									
7								事業質				1 1									
									事業	美費	=	千円									
8								事業費  千円													
9								事業費  千円													
10																					
									事業	<b>ミ</b> 費	=   =	千円									
11									事業	<b></b>	=	千円									
12									事業	<b></b> と費	1	千円									
13																					
									事業	ミ質	1	千円									
14									事業	<b></b>	=	千円									
15									事業	<b></b> と費	1	千円									
	•		谨	接事	業費の				A	- `			446, 850	_	466, 310		7, 598	518, 909			
	聑	競員人	件費等	等				(人工数 (千円)	<u>数)</u> B			_	1.85人 10,283								
			人件專	費を含む	する終す								457 133 476 325 480 129 A 現				A 現状維	¥価】 状維持・拡充			
		•	/ <b>\</b> I	, u p	<b>ン かい チ</b>	不具	\ I I -						151, 100		, 020	100	., 120	B 改善 C 縮小・	tt * 44	日古り	
								国庫支出金 県支出金										D 休廃止			
			財源	内訳				地方債													
									の他	,			155 300		450 000						
								<b>一</b> 州	设財源				457, 133	3	476, 325	480	), 129				

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 毎日の生活汚水を処理する下水道施設の機能維持を図ることは大変重要であるため。 ◆事務事業に対する評価◆ 評価の視点 評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。 事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、 課題等を分析する。 下水道事業は都市基盤として公共性が高い重要な事業であり、 これまで下水道整備に対する市民の皆様の強い | F 小坦尹耒は郁甲基盤として公共性が高い里娄な爭集であり、これまで下が坦発腫に対する市民の管様の強い 要望に応えるため、集中的に整備を行ってきた結果、本市の下水道普及率は、県内第4位の79.1%と高い水準に 事務事業の 達している。また、水洗化率も94.4%と一定の成果を挙げているところである。 成果 事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 現状の下水道施設維持管理方法は、事後的な対応型ではあるが、毎年度、点検調査を行っていることから大き 事務事業を な事故にはつながっておらず、維持管理の点からは有効である。 構成する 業務の有効性 事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。 下水道にかかる事業は周辺水域の環境保全、及び住民の環境衛生を保持するため必要不可欠であり、市が事業 を実施することは妥当である。 実施主体の 妥当性 ◆改善提案◆ 27年度の新規業務名 業務の概要 27年度の休廃止業務名 休廃止する理由 事務事業の意図を達成するための具体的な改善提案(内容、予定時期等) 管渠、ポンプ場などの維持管理業務を業務評価でBとしたが、延命化が図れるよう、予算の範囲内で予防的な修 繕等も実施する。 予算の増減を伴わず 実施可能な改善提案 予算の増減を伴う 改善提案 ◆事務事業の方向性◆ 事務事業執行責任者 小田 淳 (課長名) 供用区域内の未接続世帯の解消に努めるとともに、下水道施設の適正管理を進めていく。 また、流域下水道維持管理負担金のあり方については、引き続き、県及び関係市との協議を進めていきたい。 事務事業の 今後の方向性 最終評価責任者 亀井 淳二

施設が拡大する中で一部老朽化が見られるが、今後ともこの傾向はより顕著になると考えられるため、必要な 財源と人材の確保が急務となってくるが、当面、延命化が図れるよう点検や予防的な修繕等を行う必要があ

る。また、流域下水道負担金のあり方については、構成市とともに引き続き県と協議を進める。

(部長名)

部長意見欄

車:	業コー	. <sub>K</sub> T		530		5			<u> </u>	作成者氏	千夕	rfn	本 信一	:油	<b>絡先</b> 0	833-72	2_1400	
	事務事						一 収事業	÷	1	IF/IX.任↓	<b>√</b> /□	十	担当部		rnd 기다 U		水道課	
予算			首性早	安益    会計	新	1		ŧ 直事業	费	項	1	下水道事業		目 1	一般管理		小坦硃	
総合	計画	基本	目標	ココ	Ш	項	人の	暮らし	を支える	5まち	1	1 小坦尹茅	:貝		<u>冥</u> 総合計 期基本			
後 基本		重点政	目標策	ド	2 4	目			守り育むために な生活環境の確保									
		, ,		のが担	_	15C++			な生活環境の確保									
対	象	八和地	ZEN1	の新規	文盆地	別有在	守	(対象を	をどのよう		旦上尹1	買(7)一部負担	金色化物的 9 名	S - 2 C , 1	、小坦を导入	90.		
		受益者	f負担 <sup>,</sup>	金の賦	課に関	する情	<b>青報整</b> 理	したいの		」依頼整理	里、受着	<u> </u>	課、徴収					
事務 の棚	争兼	, ,						_, , ,			_, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
事	務事	業の成	果指	標	単	位		F度 績	25年度 実績		<b></b>	26年度 目標	達成度	27年度 目標		団体等 績値等		
現年度	山納	<u> </u>			(	%		98		3. 8	91.1	100			1		T	
						, •						100	0 11 1/0	1.0				
◆事務	务事業	(予算	事業	(き) を	構成す	る業	<b>務◆</b>				江土	下揮 中本	典 <i>(イ.</i> 四)			Alle.	4	
番号		/-		務の名		₹ <i>l</i> æ\			指標名	1		指標・事業 24年度実績	費 (十円) 25年度実績	26年度実績	責 27年度目標 □ 27年度目標	業務評	重点	
ш.,		(•	=行重	動計画	付象業	務)			事業費				25年度決算			PI	業務	
1	大和地 定・復		折規受	益地の	負担金	決		受益	者負担金 事業費		千円	1, 893 300	7, 826 1, 129	86 7		B	0	
		· ステ <i>』</i>	ムの移	行									,			В		
			- 12						事業費		千円	572	0		0	0		
3									事業費	,	千円					1		
4									事業費	<b>b</b>	千円					1		
5									事業費	,	千円							
6									事業費	•								
7										•	千円							
									事業費		千円					+-		
8									事業費	ļ.	千円					1		
9									事業費	ļ,	千円					1		
10									事業費	,	千円							
11																#		
12									事業費		千円					_		
									事業費	,	千円					┼		
13									事業費	,	千円					1_		
14									事業費	,	千円					1		
15									事業費	,	千円							
			直	1接事	業費の	合計	(千円	]) A			II	872	1, 129	7	8 10	0		
	脂	战員人 <sup>⁄</sup>			·	業	務量	(人工数				0.40人	0.40人	0.40)	_	<u> </u>		
	. [1				T			(千円)	В			2, 938	2, 918	2, 86	Δ 钼 41:		充	
		)	人件事	費を含さ	ひ総事	₽業費	(千円		A + B			3, 810	4, 047	2, 94	B 改善		,,,	
								国庫支出金 県支出金							C 縮小			
			財源	内訳				サナ 地力							D 休廃.	止・統合	・元「	
			, 14 IVI	4H/\				その										
									设財源			3,810	4, 047	2, 94	0			

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 受益者負担金制度とは、公共下水道を計画的に建設するための財源として、下水道が整備されることによって利益を受ける方に建設費の一部を 負担していただく制度であり、受益者から負担金を徴する業務は重要であるため。

## ◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の 成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 大和地区内の新規受益者へ負担金の決定と徴収によって、工事費に一部充当していくことが必要であり、今後 も高い収納率を維持することが必要である。
事務事業を	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。
構成する	今後も管渠布設整備を継続していく上で、大和地区内の新規受益者へ負担金を工事費に一部充当していくこと
業務の有効性	が必要である。
実施主体の	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。
妥当性	受益者負担金の賦課に関する受益者負担金賦課、徴収を市で実施するのは妥当である。

### ◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由
事務事業の意図を達成する方	ための具体的な改善提案(内容、予定時期等)
予算の増減を伴わず 実施可能な改善提案	管理システムを24年度に更新し当面の安定稼働が確保されたが、機器の消耗が著しくなる5年後の29年度には再度の検討が必要となる。このため、当面は、システム運用を検証するとともに業者等からの情報収集に努めることとしたい。
予算の増減を伴う 改善提案	

事務事業執行責任者 (課長名)	小田 淳
	受益者負担金賦課の制度及び必要性を被賦課者に対して理解していただけるよう、十分な説明を行い徴収を実施していくことに努めたい。

最終評価責任者 (部長名)	亀井 淳二
	条例の規定により、適正な賦課、徴収を行う必要がある。
部長意見欄	

事	業コード	530	<del>-</del> 6	_	作成者	<b></b>	山;	本 義明	連絲	85 085	33-72	-140
	事務事業名	国庫	補助事業					担当課	Ę		下才	く道記
総合 後	費目     下水道特別       計画     基本目標       期     重点目標       計画     政	7	111 項	自然を守り	費 り を支えるまち 育てるために 活環境の確保	頁 1	下水道事業	費	目 2		費 合計 基本 168	計画
対	下水道計画 業所	区域内	の一般家庭及		をどのように 公				美所への下水 子な生活環境			とで.
	事業 既要	未整備	区域において	、家庭や事業	美所から排出され	1る汚水を	を処理場へ流	すための下水	(道施設を整(	帯する。		
				24年度	25年度		26年度		27年度	類似回	fl休竺	:
事	耳務事業の成果指	標	単位	実績	実績	実績	目標	達成度	目標	の実績		
下才	<b>×道整備率(補単</b> 記	+)	%	70. 5	70. 9	71. 8	71. 4	100.6%	72. 1			
·事	務事業(予算事 1	業)を村	構成する業務	<b>务◆</b>		YT ≠1.		# <i>(</i>			Me	
番号		終の名			指標名		指標・事業 24年度実績		26年度実績	27年度目標	業務評	重点
- V	(●=行	動計画家	対象業務)		事業費		24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	価	業務
1	公共下水道管渠布	5設工事	の発注業務	î	管渠布設延長 事業費	m 千円	1, 327 115, 608	1, 142 87, 162	1, 560 144, 683	530 53, 500	В	(
2	公共下水道管渠布	5設工事	実施設計書	Ī	<b>投計委託件数</b>	111	110,000	1	0	0	В	
4	作成委託業務				事業費	千円	7, 392	5, 155	0	0	Ъ	
3					事業費	千円						
4					事業費	千円						
5					事業費	千円						
6					事業費	千円						
7					事業費	千円						
8					事業費	千円						
9					事業費	千円						
10					事業費	千円						
11					事業費	千円						
12					事業費	千円						
13					事業費	千円						
14					事業費	千円						
15					事業費	千円						
直接事業費の合計(千円) A 業務量(人工数)							123,000 2.15人	92, 317 2. 40人	144, 683 2. 60人	53, 500		
	職員人件費	等		等里(八工家 牛費(千円)			2. 15 X 15, 794	16, 906	18, 603	·		
人件費を含む総事業費(千月				(千円)	A + B		138, 794	109, 223	163, 286	A 現状維持・拡充 B 改善		
					<b>車支出金</b>		61, 500	46, 158	72, 342	,342 C 縮小・抜本的見		
	貝才洌	原内訳			5出金 5債					D 休廃止	・統合	• 完 <sup>*</sup>
	,			その								

77, 294

63, 065 90, 944

一般財源

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 下水道の未整備区域において、家庭や事業所から排出される汚水を処理場へ流すための下水道施設を整備することは、下水道の普及率を向上させ公共水域の水質保全と良好な生活環境の維持に繋がることから重点的に取り組むこととする。

#### ◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。
成果	下水道施設の整備にあたっては多額の経費を要することから、国からの補助金を活用し整備を行っているところであり、整備率が目標を達成していることから一定の成果があるところである。しかしながら、2事業とも業務評価をBとしているように、整備にあたっては、限られた財源の中で今まで以上に計画的に取り組む必要があり、計画的かつ効果的な下水道整備の推進及び下水道施設の老朽化に伴う対応を検討していく必要がある。
事務事業を 構成する 業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。構成する事務事業は、下水道の普及率向上を図るために必要な事務事業であり適切である。
実施主体の	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。
妥当性	事務事業は光市が実施主体となり国からの補助金を活用し進めており適切である。

### ◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
公共下水道等に関する計画策 定(変更)業務	効率的な施設整備及び継続的な施設運営を実施するため、市全域の汚水処理手法の検討及び公共下水道整備事業計画の策定(変更)を行う。
公共下水道管渠長寿命化計画 策定業務	老朽化する下水道施設の改築・修繕を効率的かつ効果的に実施するための計画を策定する。
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由
事務事業の意図を達成する方	こめの具体的な改善提案 (内容、予定時期等)
予算の増減を伴わず 実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う 改善提案	

事務事業執行責任者 (課長名)	小田 淳
事務事業の 今後の方向性	下水道施設の整備にあたっては多額の経費を要することから、今後とも国からの補助金の確保に努め、整備率の向上を目指す。また、将来にわたって適切な管理が行えるよう、計画的な施設整備に努めたい。

最終評価責任者 (部長名)	<b>亀井 淳二</b>
如日本日棚	財政面に配慮しつつ、供用開始区域の早期拡大を図る必要がある。 また、近年、国の補助額が削減されつつあるが、財源を確保し、緊急性と必要性を見極めながら計画的な事業 実施に取り組む必要がある。

							・					1			
	業コード			<del>- 7</del>	_		作成者	氏名	山;		連絡	8先 083	33-72		
	事務事業		単独事	業						担当調				下水道	
		水道特別会 基本目標		款 1 Ⅲ	下水道		費 項 を支えるまち	1	下水道事業	費	目 2	下水道事業	費 合計i	襾	
		10点目標	1 -	9 坦			<u>で又んるより</u> 育てるために						基本		
	計画		ド	4 目			活環境の確保						168	頁	
	下	水道計画区	域内の-	一般家庭及	び事	-	意図 下水	(道計画[	区域内の一般	家庭及び事業	美所への下水:	道整備を進め	るとと	L \$	
対		所	,	7.0.00	(	対象を	とどのように に、	老朽化为	対策をおこな	い下水道施設	を適切な状! な生活環境の	態に維持する	ことで	で、公	
	下	水道の去敷	借区域	において		たいの	かり 一							三丰命	
		計画)を行		15324.61	<b>外</b> № \ 7	F*(I)	IN-OBEHICANA	17/10/2 8	空生物 "机"	/C0/0/   //\E		X O Z I III XI	ж (Д	C 2d uh	
V) Jį	9.安														
-	- 757 - <del>  1</del>		.	光子	24年月	变	25年度		26年度		27年度	類似因	······································		
手	・ 務争業の	の成果指標		単位	実績		実績	実績	目標	達成度	目標	の実績			
下才	<b>×道整備</b> 率	図(補単計)		%	7	70. 5	70. 9	71.8	71. 4	100.6%	72. 1				
						_									
▶事績	務事業(	予算事業)	を構成	成する業績	<b>务◆</b>										
亚口.		業務	の名称	尔	_		<b>松</b>		指標・事業		oc左连安建	07左连口捶	業務	重点	
番号		(●=行動語					指標名 事業費		24年度実績24年度決算	25年度美績25年度決算		27年度目標 27年度予算	評価	業務	
1	<b>公</b> 土下水	道管渠布設	・丁事の	発注業務		管	<b>萨渠布設延長</b>	m	1, 531	1, 228	1, 391	1, 270	В	0	
		道管渠布設				彭	事業費 设計委託件数	千円 件	110, 548	89, 766	127, 924	115, 000			
2	作成委託		工尹天	: 旭 政 司 音		ம	事業費	千円	2, 429	5, 297	13, 388	0	В		
3	取付管設	置				İ	設置箇所数	個所	54	42	29	40	Α		
	v) II [4]=#						事業費 設置箇所数	千円 個所	10, 417 118	8, 051 118	6, 176 73	8, 000 100			
4	公共枡設	(直					事業費	千円	3, 636	3, 397	2, 246	5, 000	Α		
5	公共下水	道管渠調査	業務			1	等 等 事業費	m 千円			2, 156 2, 603	0	В		
6								113			2,000				
-							事業費	千円							
7							事業費	千円							
8							<b>本</b>	<b>⊀</b> ⊞							
							事業費	千円							
9							事業費	千円							
10							事業費	千円							
11															
							事業費	千円						$\vdash$	
12							事業費	千円							
13							市光串	- 大田							
1.4							事業費	千円							
14							事業費	千円							
15							事業費	千円							
	1	直接	妾事業	費の合計		Α	1	1114	127, 030	106, 511	152, 337	128, 000			
	職員	員人件費等			务量(人 牛費(千	(人工数) (千円) B			2.60人 18,155	2.85人 19,214	3.05人 20,906	【業務評価】	*************************************		
		/ / / 弗 ·	も今まべ	総事業費			A + B		145, 185	125, 725	173, 243	A 現状維	持・拡き	充	
		八計貨	c 口 U'i	心尹老其	(1 门)				140, 185	140, 725	110, 243	B改善	LI. 1 77	n ·	
					<u> </u>		(支出金) (出金)					<ul><li>C 縮小・</li><li>D 休廃止</li></ul>			
		財源内	引訳			地力	債					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2 H	,,,,	
					<u> </u>	その他 一般財源			145, 185	125, 725	173, 243				
						刑区	< X / 1/JT.		140, 100	140, 140	110, 440				

表面の「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由 下水道の未整備区域において、家庭や事業所から排出される汚水を処理場へ流すための下水道施設を整備することは、下水道の普及率を向上させ公共水域の水質保全と良好な生活環境の維持に繋がることから重点的に取り組むこととする。

## ◆事務事業に対する評価◆

評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
事務事業の 成果	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。 下水道施設の整備にあたっては、計画的に整備を行っており、目標数値を概ね満足していることから現状を維持していくことが適切である。 また、本市の下水道は分流式を導入し、なおかつ、生活排水の悪水を防ぐためなどに規制を行っておることから、事業としては適切である。なお、将来的に、下水道施設の老朽化に伴う対応を検討していく必要があり、関連する業務の業務評価をBとしているところである。
事務事業を 構成する 業務の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 構成する事務事業は、下水道の普及率向上を図るために必要な事務事業であり適切である。 水洗化の促進を図るためには、成果指標に掲げている、接続件数や宅地開発などで行われる下水道整備に合わ せた繋ぎ込みを行うこと(水洗化率)が大事であり、事務事業を実現するためには適当である。
実施主体の 妥当性	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。 事務事業は光市が実施主体となり、国からの補助金のみでは対応できない部分について整備を進めていく必要 があるため、適切である。 事務事業としては、市が実施主体となり進めていくことが重要であると考えるが、市民の意識向上や下水道整 備の現状を踏まえた取り組みを行う必要がある。

### ◆改善提案◆

27年度の新規業務名	業務の概要
	  休廃止する理由
21 千茂 57 怀虎亚朱扬石	
事務事業の意図を達成する	ための具体的な改善提案(内容、予定時期等)
- http://www.nin.com	
予算の増減を伴わず	
実施可能な改善提案	
	□ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	ながら実施していく必要がある。このため、平成27年度に補助金を活用し「公共下水道管渠長寿命化計画策定
予算の増減を伴う	業務」を実施することとしているが、単独事業については、その結果を待って検討することとする。
改善提案	

事務事業執行責任者 (課長名)	小田 淳
事務事業の 今後の方向性	下水道施設の整備にあたっては多額の経費を要することから、将来にわたって適切な管理が行えるよう、計画的な施設整備に努めたい。

最終評価責任者 (部長名)	<b>亀井</b> 淳二
	限られた財源の中で、効率的な工事計画を検討の上、緊急性と必要性を見極めながら計画的な事業実施に取り組む必要がある。

事業コード 530 - 8 -					_	作成者氏名			中	本 信一	連絡	洛先 08:	0833-72-140					
事務事業名 長期債元金償還金								11	.,			担当部				が道課		
,							水淀	直事業		項	1	下水道事業		<b> </b>	一般管理費		·/=!/\	
総合計画 基本目標 コ Ⅲ 급 人の暮								事らしを支えるまち よんしゅう かんしゅう かんしん そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し								総合計画		
【 按期 【里尽目憬																基本		
<b>卒</b> 平	·司四	政	策	<u> </u>	4	(年)	生.的	リな生活	5界児の	隹1木						168	貝	
	-	下水道事	事業に	に係る	起債元金	È			意図		-画通	り償還する。						
対	·象							(対象を したいの)	どのように か)									
重 数	事業	起債元金	定の信	賞還に	係る事績	务を行う。				I								
	要未 既要																	
事	務事	業の成果	見指札	票	単位	<u>'</u>	24年		25年度	-	<b>√</b> ±:	26年度	***	27年度		団体等		
							実統	顔	実績	実	稹	目標	達成度	目標	の美術	責値等	•	
A	76 <del>七</del> 业	. / <del>-&gt;</del>	牛 개小	اید (.	# ,45. 1- 5	マ 北トマト 🍨												
▼ 事 i	<b>吟</b> 事業 ┃	(予算				の兼務◀	<u>,                                     </u>				活動:	指標・事業	曹 (千田)			業	重	
番号		( <b>A</b> -		務の名 h計画は	3称 対象業務	ķ)	ŀ		指標名		単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績		務評	単点 業務	
		(0-	-1] 男	// 計画/	的家果的	<del>(</del> )			事業費		単位	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	価	務	
1	起債テ	<b>冠債元金償還業務</b>				-		事業費		千円	904, 028	863, 853	833, 538	816, 155	A	0		
2																		
_					+		事業費		千円					-				
3								事業費		千円								
4							事業				千円					ļ		
5																		
							_		事業費		千円							
6								事業費		千円								
7								事業費		千円					l			
8																		
	<u> </u>				_		事業費		千円									
9	9					-		事業費		千円								
10								事業費		<b>1</b> .m								
						$\dashv$				千円								
11	1					_		事業費		千円					<u> </u>			
12							}		事業費		千円							
13						T												
					$\dashv$		事業費		千円									
14									事業費		千円					<u> </u>		
15							}		事業費		千円							
	<u> </u>		直	接事	業費の	合計 (=	F円	) A			1 17	904, 028	863, 853	833, 538	816, 155		<u> </u>	
聯昌 人 供 典 生 業 務 量 (											0.15人	0.15人 0.15人 0.15人						
人件費を含む総事業費(千円								В			Δ			【業務評価】 A 現状維		充		
		人	11年質	(を含)	い総事	<b>兼</b> 賀(⁻	广円		+ B			905, 130	864, 910	834, 611	B 改善			
						}		支出金 出金						C 縮小・       D 休廃止				
		Ę	才源	内訳			ŀ	県支出金 地方債							レ が斑単	יואר 🗖	<i>&gt;</i> □ 1	
							その					004 -	004 -					
							一般	灯源			905, 130	864, 910	834, 611	1				

表面の「重点業務」欄で	最重点化、重点化する業務として選択した理由
	   東業務のみであるが、当業務は下水道事業を継続していく上で欠くことのできない業務であるため。
	ニスカップ、マグラスト コスカカットルモナス CMEME C くと トエ くパト C C ツ く C はく 末切 くのづ にが。
◆事務事業に対する評価◆	
評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。
<b>本效本类</b> 6	事務事業の内容が成果指標の設定になじまない。
事務事業の 成果	
风木	
	■ ■事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。
	下水道事業を継続していく上で必要な内部事務であるため有用である。
事務事業を	小地子来と極視して、 く上で必要な自由す物であるにの自用である。
構成する	
業務の有効性	
	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。
	下水道にかかる業務は周辺水域の環境保全、及び住民の環境衛生を保持するため必要不可欠であり、市が事業
実施主体の	を実施することは妥当である。
妥当性	
◆改善提案◆	
	₩ 改 の 柳 田
27年度の新規業務名	業務の概要
	休廃止する理由
21 中皮切外展五来物石	が発生する柱内
事務事業の意図を達成する	ための具体的な改善提案(内容、予定時期等)
1 33 7 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	TO A SAME OF THE S
予算の増減を伴わず	
実施可能な改善提案	
712 3 9 2 10	
予算の増減を伴う	
改善提案	
9(1)2)	
◆事務事業の方向性◆	
事務事業執行責任者	
(課長名)	小田 淳
	直接的な住民サービスの提供を伴わない内部的、定型的な業務であるが、今後も、引き続き適切に実施してい
事務事業の	く必要がある。
今後の方向性	
最終評価責任者	<b>角</b>
(部長名)	<u> </u>
	適切な事務の実施が必要である。
수대는 각시다 UBB	
部長意見欄	

事業コード 530 - 9 -							Τ	作品	成者氏:	名	中	本 信一	連維	格先 08:	33-72-	-1400		
事務事業名 長期債利子									11.75				担当部				が道課	
予算費目   下水道特別会計   款 1   下水道								É		項	1	下水道事業		1	一般管理費		******	
総合計画 基本目標 コ Ⅲ 급 人の著								を支え		ち		1 1 1 1 1 2 1	•		総	総合計画		
【 仮期 【里尽日保								を守り育むために 後期基								月基本 168		
ZB/T*		-	,			用上	ну/ж Ц	-1口外先								100	只	
<del></del>	象	下水道事	事業に	[係る]	起債利子		(1.1.67	意図		償還計	画どは	おり償還する						
XJ	<b>≫</b>							をどのよう いのか)	つに									
事務	事業	起債申請	青、借	計入、:	返済等の事	事務を行っ	う。											
	既要																	
事	務事業	巻の成果	見指標	票	単位		年度 ≨績	25年 実績		実紀	害	26年度 目標	達成度	27年度 目標	類似国の主義			
							こが見	大心	₹		<b></b>	日依	上风及	日本	<b>マン</b> 天心	の実績値等		
<b>▲</b> 事科	務事業	(予算]	事業)	) かれ	     構成する	 業務◆			ļ						<u> </u>			
		( + )[-										指標・事業				業	重	
番号	番号 業務の名称 (●=行動計画対象業務)						指標》 事業領					25年度実績25年度決算	26年度実績	27年度目標27年度予算	務評価	点業務		
	+7 /= 1.1	フ (岸) 思う	ルマケ					尹来1	頁	+	里位.	24 中及伏昇	25年及伏昇	20 中及伏昇	27年及了异			
1	起頂利	起債利子償還業務				事業費		費		千円	264, 216	243, 799	223, 200	207, 466	Α	0		
2	一時借	入金利	子支扎	仏業務	į		事業?		費		千円	679	321	240	1,800	Α	0	
3														,				
<u> </u>								事業	<b>ğ</b>	+	千円					$\vdash$		
4							事業				千円							
5								事業	曹		千円					İ		
6																		
							事業	<b>ğ</b>	+	千円					$\vdash$			
7	7						事業領	費		千円					<u> </u>			
8	8						事業領	曹		千円					ł			
9	9																	
								事業	貸		千円							
10							事業	費		千円					<u> </u>	<u> </u>		
11	11							事業領	費	-	千円							
12																		
							事業	貸		千円								
13							事業	費		千円					<u> </u>			
14	4				事業費				千円									
15																		
			古	接事	業費の合	計 (千口	<u> </u>	事業 A	費		千円	264, 895	244, 120	223, 440	209, 266	<del>                                     </del>		
直接事業費の合計(千円) 職員人件費等 業務量(2014年)							(人工	数)				0.15人 0.15人 0.15人						
城員八件貨等 人件費 (														Δ ∓EI √L ≤#		<b>*</b>		
		人	件費	を含	む総事業	費(千円		A + B				265, 997	245, 177	224, 513	A 現状維 B 改善	14.1亿	ΛÜ	
								庫支出金 ませる	定						C 縮小・			
		Ę	け源 に	内訳			県支出金 地方債								D 休廃止	・統合	・完了	
						そ	の他							]				
								般財源				265, 997	245, 177	224, 513	1			

	最重点化、重点化する業務として選択した理由
起債利子償還業務は、今後も「	F水道事業を継続していく上で欠くことのできない業務であるため。
◆事務事業に対する評価◆	
評価の視点	評価の視点から、事務事業の意図を達成するにあたり、どのような課題があるか。
HT INC. S INC.	事務事業の成果を、成果指標等から達成度や事業の効果、課題等を分析する。
	事務事業の内容が成果指標の設定になじまない。
事務事業の	The state of the s
成果	
1942/14	
	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。
	下水道事業を継続していく上で必要な内部事務であるため有用である。
事務事業を	TARETA CHEROLOGY (I CA SASTINITY W CO SASTINITY W
構成する	
業務の有効性	
	事業に対する市の役割の妥当性、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。
	下水道にかかる業務は周辺水域の環境保全、及び住民の環境衛生を保持するため必要不可欠であり、市が事業
実施主体の	を実施することは妥当である。
デルニー デルティ ディスティー アイル ディスティー ディー ディスティー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー デ	
女 当 压	
▲北美坦安▲	
◆改善提案◆	NIL rike - Ingresse
27年度の新規業務名	業務の概要
27年度の休廃止業務名	休廃止する理由
事務事業の意図を達成する	ための具体的な改善提案(内容、予定時期等)
予算の増減を伴わず	
実施可能な改善提案	
予算の増減を伴う	
改善提案	
◆事務事業の方向性◆	
事務事業執行責任者	小田 淳
(課長名)	
	直接的な住民サービスの提供を伴わない内部的、定型的な業務であるが、今後も、引き続き適切に実施してい
事務事業の	く必要がある。
今後の方向性	
最終評価責任者	<b>亀井</b> 淳二
(部長名)	
	適切な事務の実施が必要である。
部長意見欄	
叩灭忠允惻	
1	